



# 静岡病院

Juntendo University Shizuoka Hospital

No. **70**  
2017.1.12

## 二ユース

- 常染色体優性多発性のう胞腎(ADPKD)新しい治療の展開
- こどものカウンセリングについて
- セカンドオピニオン外来について
- 栄養指導対象拡大について ● 市民公開講座開催のご案内



### 謹賀新年

(伊豆の国市白山堂より)

## 新年のご挨拶

順天堂大学医学部附属静岡病院

みつ はし なお き  
病院長 **三橋 直樹**



明けましておめでとうございます。順天堂静岡病院に勤務するようになり18年となりました。長く仕事ができただけでなく周りの方々が支えてくれたためと感謝していますが、この静岡県がかなり住みやすいところであることも理由の一つと思っています。徳川家康が晩年を過ごしたのは地元であったためだけでなく温暖で海や山のおいしいものが手に入りやすかったからではないかと想像しています。

確かに静岡県民の平均寿命は男性79.35歳(全国で6位)、女性86.06歳(16位)とかなり好成績で、さらに健康寿命では男性が2位(1位は愛知県)、女性はなんと全国で1位です。また一人あたりの県民所得は東京都、愛知県に次いで全国3位で経済的にも恵まれた県であると言えます。一方一人あたりの医療費は31.5万で全国36位、しかも年齢補正をすると41位となり、医療費はかなり低く抑えられています。これをどう解釈するかいろいろな意見があるでしょうが、静岡県民は健康に気を付けてあまり医療の世話にならないようにしており、静岡の医療機関は安価で効率の良い医療を提供しているといえるのではないのでしょうか。

# 常染色体優性多発性のう胞腎 (ADPKD) 新しい治療の展開

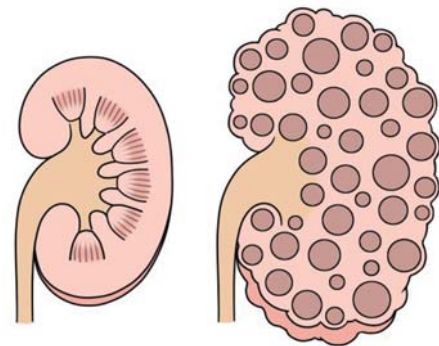
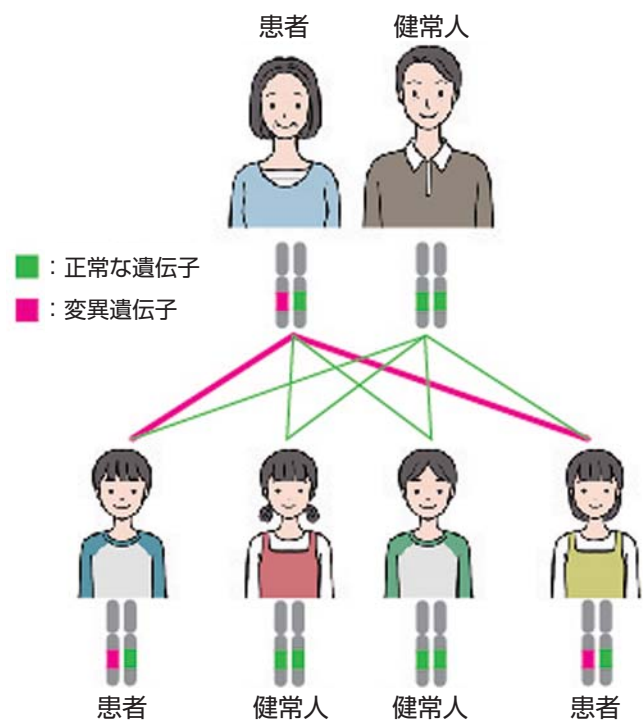
順天堂大学医学部附属静岡病院  
泌尿器科 助教 <sup>なか しま あき こ</sup> 中島 晶子

## ADPKDとは…

常染色体優性多発性のう胞腎は、腎臓に「のう胞」という水のたまった袋がたくさんできることによって、腎臓が大きくふくらんでしまい、腎臓の働きが低下する遺伝性の病気です。遺伝性の病気の中では頻度が高く、1000人に一人の確率で患者さんがいるといわれています。変異した遺伝子をもつ親から生まれた子供の2分の1が発症します。血のつながったご家族の中で腎不全の人がいる場合は、病状を把握しておくことが大切です。

## ADPKDの症状

肝臓、膵臓、脾臓、卵巣などいろんな臓器に腎臓と同じ「のう胞」が出来たり、脳の血管に動脈瘤というコブができたりします。脳動脈瘤は破裂し脳出血を起こすリスクがあるため、早めに検査し治療を行なわなければなりません。また、腹部の臓器にたくさんの「のう胞」ができて臓器が大きく変形してしまうので、腹囲が異常に大きくなり、痛みが出てきます。ひどい場合には、自分のお腹がじゃまになって足元をのぞき見ることができないような状態になります。



また、この「のう胞」の中で細菌感染が起ると高熱の原因になったり、周辺のもろい血管が破綻して、「のう胞」の中に大量に出血したりすることもあります。

腎臓では、尿を濾過している尿細管という組織が、遺伝子変異によって風船上に膨らんでしまい、たくさんの「のう胞」に変化します。正常の腎組織が「のう胞」に置き換わっ



てしまうと、時間とともにどんどん正常な尿を作る力が落ちていきます。そのため体内から不要な水分や老廃物を排出できなくなり、人によって開始時期に差はありますが、透析や腎移植などの腎代替療法が必要になってしまいます。透析を実際に導入されると、年末やお盆も休みなく週3回のペースで病院に通い、毎回4～5時間の処置を受ける必要があります。

## ADPKDの治療

多発性のう胞腎の患者さんにとっては、様々な合併症のコントロールと共に、透析導入の時期をどれだけ遅くすることができるかが重要な課題になります。

これまで多発性のう胞腎に対しては、有効な治療法がありませんでした。しかし、2014年3月にサムスカ(一般名:トルバプタン)という薬が世界で初めて多発性のう胞腎に対する治療薬として認可されました。この薬には腎のう胞の増大を遅らせたり、腎機能の低下を抑制したりする効果が確認されています。

また、多発性のう胞腎は平成26年に特定難病疾患に指定されました。この結果、高額医療に対しては、条件を満たしていれば医療費

の助成が受けられることになりました。

この薬はすべての多発性のう胞腎の人に使えるわけではありません。腎臓の大きさ、大きくなる速度、腎機能の程度などによって適応の有無が分かります。

そして、すべての薬と同様に、サムスカには副作用があります。そのため、最初はサムスカを処方できる資格をもつ医師のいる病院で、入院下でデータや体の状態のチェックを受けてもらいながら内服を始める必要があります。

多発性のう胞腎は根治する病気ではなく、一生のお付き合いになる病気です。患者さんにとって無理のない範囲で、可能な限りの治療を続けていくことが目標になります。当院では、サムスカ導入のような最新の治療以外にも、脳動脈瘤に対する脳外科との連携、必要時の外科的処置を含め、合併症にも総合的に対応する体制を整えています。

当院では月・水曜の多発性のう胞腎外来を中心に、多発性のう胞腎の患者さんの受け入れを行っています。普段かかっている病院からの紹介状をご持参いただきますようよろしくお願いいたします。

### インターネットでも ご覧頂けます

当院のホームページに広報誌を掲載しております。次のアドレスまたはQRコードからご覧下さい。



[http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/column/pr\\_magazine.html](http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/column/pr_magazine.html)



## こどものカウンセリングについて

順天堂大学医学部附属静岡病院  
メンタルクリニック臨床心理士  
あさ い ま ゆ  
**浅井 茉裕**

いじめや不登校、ともだち関係や家族関係での悩み、発達障害。こどものことに関するニュースを見ない日はありません。メンタルクリニックにも、毎日子どもや家族が様々な悩みを抱えてやって来ます。

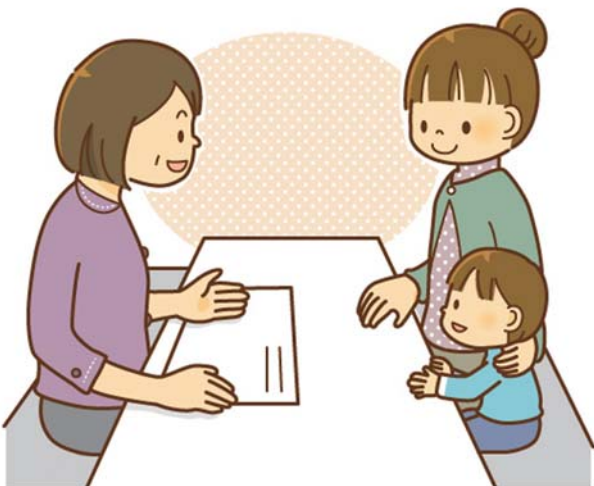
当院では医師との診察の中で、治療の1つとして心理士のカウンセリングを一緒に行う場合があります。カウンセリングというと「向き合って悩みについて話す」というイメージを持つ方が多いのですが、子どもは自分のところをまだうまくつかみきれなかったり、悩みを相談することに慣れていなかったりします。そのため、カウンセリングではこころの表現をしやすいように工夫を行っています。こどものカウンセリングでは絵や箱庭（砂箱にミニチュアを並べるなどして好きな景色を作れるもの）、遊びを使うことがあります。一見すると悩みや不安とは無関係に見えるかもしれませんが、そうした中にもこころの表現が隠れています。いじめを受けてから友だ



ちにも家族にも「ごめんね」と言い続けていた子どもは、オセロでも勝とうとしません。勉強が苦手で自信のない子どもは、おもちゃの線路が組み立てられないと「どうせできない」とすぐにやめてしまいます。優等生だったのに突然学校に行きたくないと言い出した子どもは、お母さんの嫌いなヘビのおもちゃを出して反応をじっと見えています。

こうした表現を受け止めながら、カウンセリングは行われます。オセロで勝っても怒られないし相手と対等に勝負を楽しんでもいいこと、言葉で説明されるとわからなくても実際にやり方を見ればできること、『悪い』ところを出しても見捨てられないこと。そんな体験をしてもらえればと思いながら心理士と一緒に遊んで、箱庭をながめています。

カウンセリングを受けてみたいと思った際は、まずはメンタルクリニック外来を受診して頂き、担当の先生にご相談下さい。また、ご不明な点等ございましたらメンタルクリニック外来の受付までお問合せ下さい。



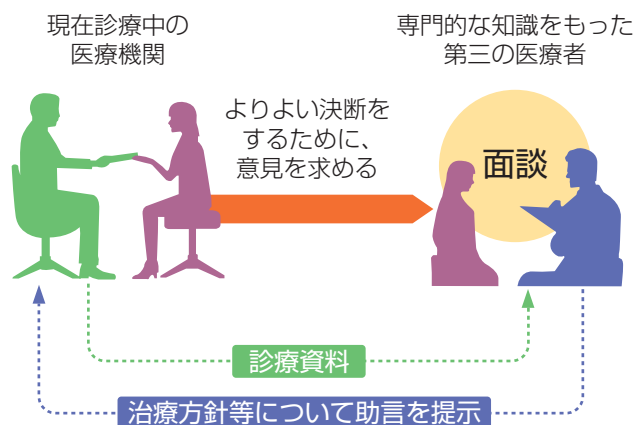
## セカンドオピニオン外来について

予防医学センターでは人間ドックの施行が中心ですが、セカンドオピニオン外来も行っております。セカンドオピニオンとは、患者さんが主治医(かかりつけ医)から勧められた治療法を選択するにあたり、納得して治療を受けられるよう主治医以外の医師の意見を求めることです。

セカンドオピニオン外来でのご相談を希望される方は、予防医学センターまでご連絡をお願いします。あるいは現在おかかりになっている医療機関からも予約可能です。セカンドオピニオン外来が少しでも皆様のお役に立てば幸いです。

- 問合せ：順天堂大学医学部附属静岡病院 予防医学センター
- 連絡先：055-948-3111 (内線) 1200

### セカンドオピニオンとは



## 栄養指導対象拡大について



順天堂大学医学部附属静岡病院  
もり あき ひこ  
栄養科 主任 森 明彦

平成28年度より栄養食事指導の対象及び指導内容が特別食(心疾患、高血圧、糖尿病、腎臓病等)に加え、がん、摂食・嚥下機能低下、低栄養の患者さんに対する治療食が対象となりました。患者さんの高齢化による低栄養の問題を多く目にする現状を踏まえ追加されました。

栄養食事指導は患者さん一人一人の生活環境や生活リズム、ライフスタイルに応じた、実行しやすい食事の方法についてアドバイスし、継続的に支援することを目的とします。

※特別食の疾患では、食習慣を変更することで疾病の治療及び悪化防止につながります。

近年のがん治療では、他の病気に比べ治療が長引く傾向があるため、QOL(生活の質)が重要視されています。

食事は楽しみな時間であり、また治療を乗り越えていくために栄養管理は必要不可欠です。そうした中で、少しでも美味しく、楽しく食べて頂くお手伝いができればと思います。

又、今後はがん患者さんを対象とした集団教室を開催する予定をしております。

食べ物を噛んだり飲み込んだりする力(咀嚼(そしゃく)・嚥下(えんげ)機能)が弱くなり、低栄養状態になる方もおられます。

個人に合わせ市販栄養調整食品を紹介したり、誤嚥防止の為食材の形態(刻み、とろみ等)、自助具についての提案をし、患者さんが安全且つ楽しく生活できるよう、栄養摂取の方法を確立していきます。嚥下食(ソフト食)講座を開催し調理方法、試食会の開催も予定しております。

# 市民公開講座開催のご案内

参加  
無料

申込  
不要

## 第51回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

平成29年 1月23日月 17:30～18:30 (開場17:00から)

### 『ご存知ですか？慢性腎臓病(CKD)』

～意外に怖い新たな国民病～

講師 腎臓内科 先任准教授 清水 芳男 先生

## 第52回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

平成29年 2月13日月 17:30～18:30 (開場17:00から)

### 『腹腔鏡下手術の進歩 -胃がんの手術-』

～最新の手術機器について～

講師 一般外科 准教授 折田 創 先生

● 場 所／順天堂大学医学部附属静岡病院 管理棟4階 第1会議室  
(静岡県伊豆の国市長岡1129番地)

● 定 員／100名(定員に達した場合はお断りすることもございます)

お問い合わせ 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室  
TEL : 055-948-3111(代) FAX : 055-948-2103(直通)

## 第53回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

平成29年 3月4日土 13:30～15:50 (開場13:00から)

### 講演1 『日本における災害医療の現状』

講師 救急診療科 教授 柳川 洋一 先生

### 講演2 『東日本大震災の甚大な被害を体験して、伝えたいこと』

講師 福島県南相馬市 絆診療所 管理栄養士 鶴島 綾子 先生

※参加方法／どなたでも自由にご参加いただけます。当日、直接会場までお越し下さい。

● 場 所／順天堂大学保健看護学部 (三島キャンパス)  
(静岡県三島市大宮町3丁目7番33号)

お問い合わせ 順天堂大学保健看護学部  
TEL : 055-991-3111(代) E-mail:mishima@juntendo.ac.jp

■共催／順天堂大学保健看護学部／順天堂大学医学部附属静岡病院 ■後援／三島市・三島市教育委員会  
順天堂大学医学部／静岡災害医学研究センター／伊豆の国市  
一般社団法人 田方医師会



## 広報誌をご覧の皆様へ



ご意見ご要望等ございましたら、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ：順天堂大学医学部附属静岡病院  
医療サービス支援センター地域医療連携室  
電 話：055-948-3111 (内線) 3550

## 静岡病院の詳細はこちら

こちらのQRコードより、病院の  
ホームページの閲覧が可能です。

<http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

